豊田民報
日本共産党豊田市委員会
◆豊田市日之出町一-六-六
TEL…三四-四七七二
毎週一回発行

扶養照会は申請者の意見を尊重して
保護が必要な人が受けられるように

根本みはる市議

厚生労働省は、生活保護の申請をすると自治体の福祉事務所が申請者の親族に援助ができないかどうかを確認する「扶養照会」について、申請者の意向を尊重するよう求める通知を自治体に出しました。生活保護の申請をためらう人が多く、改善が求められていた内容です。

通知では、申請者が扶養照会を拒んでいる場合には、その理由について、特に丁寧に聞き取りをおこなって、親族が「扶養義務履行が果たせないもの」に該当するか否かの観点から検討するよう求めています。

生活保護を必要としている人のうち、実際に受けられるのは一部にとどまり、生活保護を利用していない人の3分の1が、家族に知られたくないと回答している調査の結果があることからも、今回の通知は、利用に結びつける大きな前進です。

申請の窓口では通知の趣旨に沿って対応を

豊田市議会3月定例会では、根本みはる市議が、生活保護利用についての市の対応について一般質問で質問していました。

生活保護の利用にあたって親族に援助が可能かどうかを問い合わせる『扶養照会』が申請をためらわせるハードルとなっている実態があります。

申請をあきらめてしまう人も少なくない中で、親族に「扶養照会」がおこなわれても、援助が可能である親族はいないことが明らかです。戸籍や住民票を探すなど職員にも膨大な手間をかけています。「法律上も『義務ではない』との厚生労働省の認識が示された扶養照会をやめるべき」と、根本市議は主張しています。

厚労省の通知を受け、生活保護の申請窓口では、今回の通知の趣旨に沿った対応が求められます。

社保協発足の記念に撮影　3/28

医療・介護・子育てなど社会保障の充実をめざして
豊田みよし地域社会保障推進協議会を発足

豊田みよし地域で、社会保障推進協議会が3月28日、発足となりました。1月30日の準備会と、「社保協とは？」の学習会を経て、準備をすすめてきました。

発足にあたって、愛知県社会保障推進協議会（愛知社保協）の協力もいただき、当日は2020年愛知自治体キャラバンのまとめの学習会も行いました。

愛知県内の自治体ごとの社会保障制度の内容は、年々改善されてきており、自治体キャラバンで長年取り組んできた成果といえます。

社会保障制度を巡っては、政府が社会保障の改悪・削減を続ける中、現在、「原則1割」の75歳以上の高齢者の医療費窓口負担を、一定所得以上の人を対象に、倍の「2割負担」とする法案が、自民公明両党によって提出されてしまいました。

全日本年金者組合など、団体がこの改悪に反対の運動に立ち上がり、各地で署名活動が取り組まれています。

国が社会保障への財政負担を減らしている中で、住民の社会保障制度の拡充を目指す要求行動・学習が、一層求められています。

日本政府も「核兵器禁止条約」に賛同を
署名行動
4月18日（日）
13:30～14:30
市駅デッキ西　松坂屋前
主催　豊田地域原水協

上郷で市政報告・つどいを開催
根本みはる市議の一般質問・新年度予算の内容

日本共産党上郷後援会が４月１０日、根本みはる市議の市政報告会と、しんぶん赤旗読者のつどいを行いました。

新型コロナ感染の拡大が市内でも深刻な中であり、感染対策を十分に行ってのつどいとなりました。

日本共産党豊田市委員会から本多のぶひろさんも参加し、消費税減税、コロナ対策、少人数学級の拡大などの政策を紹介し、野党共闘で政治を変える訴えを行いました。

また、根本市議は３月議会報告の「豊田民報」などの資料を使って、新年度予算の内容のうち、新型コロナ感染症対策では、ＰＣＲなど検査の対象が狭い予算になっていること、小中学校のトイレ洋式化、豊田スタジアムへの市の持ち出し（税金投入）、豊田スタジアムの長寿命化計画が、国の補正予算を使っておこなわれること、豊田市駅前フルモール化の見直しなどについて報告。一般質問では、コロナ対策としてＰＣＲ検査の拡充、療養施設の設置を求めたことを紹介しました。

会場からは、「ワクチン接種の情報が分からない。」「南部地域に２次救急医療体制を。」「学校の先生が忙しくて大変」「タブレットもいいが、学校のトイレを早くきれいにしてほしい」「なぜ豊田市は少人数学級を拡大しないのか」などの疑問や意見が出されました。

上郷後援会では、今後も定期的につどいを開催していく計画です。

政治とカネの問題で国政補欠選挙
市民と野党の共闘で審判を

自民党の政治とカネの問題をめぐって、広島や北海道で国政の補欠選挙が４月２５日投開票で行われます。日本共産党はどちらも、市民と野党の共闘で自公政権に審判を下す立場でとりくんでいます。

豊田市内で１１日、衆院選の本多のぶひろ予定候補が街頭宣伝をしました。

広島の大型買収事件で河井両議員が辞職。広島の選挙買収には、自民党への政党助成金が使われた疑い濃厚です。日本共産党は、政党助成金の制度を廃止にするよう求めていて、受け取りも辞退しています、と訴えました。

浄水駅頭（左上写真）で政策ビラを配布すると、男性３０代２人組が受け取り「がんばってください」と激励していただきました。

汚染水の海洋放出許さない

当日は菅内閣が原発汚染水の海洋放出を決定しようとしていました。

本多予定候補は、地元の漁師さんや全国の漁業者が強く反対していることを紹介し、汚染水の海洋放出について、その危険性を説明。新潟の柏崎刈羽原発の再稼働にむけて東京電力が不祥事を繰り返していることも指摘し、４野党（共産、立民、社民、自由）が２０１８年に共同提出した原発ゼロ基本法案を成立させたい、と支援を呼びかけました。

本多のぶひろ衆院選
愛知11区予定候補

根本みはる
豊田市議会議員

無料 法律・生活相談おこなっています

◆第２土曜日　午前十時～十二時
◆法律相談は弁護士
生活相談は随時、根本議員が応対します。
◆要予約。お申し込みは根本議員か
日本共産党西三地区委員会まで
TEL〇五六四―二三―二七八五

もとむら伸子
衆議院議員

集団的自衛権は要らない

安保法制・戦争法は廃止に

１９行動のご案内

４月１９日（月）午後６時～

豊田市駅西口デッキにて

主催：９条改憲ＮＯ！豊田市民アクション